



同窓会報

第42号

発行 宮城県仙台第二高等学校
同窓会事務局
仙台市青葉区川内蔵橋通一
番二二一五六一(直通)
印刷 創文印刷出版株式会社
仙台市青葉区春日町八番三十四号

巻頭言

会長 西澤 潤一 (中44回)



近年漸くにして本校が全国での話に登場するようになったことは甚だ嬉しいことである。片や、正規の学校教育に頼っているだけでは駄目と云われて予備校が高校勉強の主軸に立つようになったことも、記憶中心の勉強が主軸になって、考えることが中心になった自己確立教育が希薄になったことも、甚だ合点のゆかない近年の傾向である。

本校も共学実施以来、三年

に近く、全学年に女子生徒が存在している状態になった。何とか平静に渡り切ることを期待したい。然し、世界に相当数存在するキリスト教国家では、依然としてミッシェンスクールの態勢を維持しており、修道院は男女別に設置されている。劃期的に男女無差別が唱えられるようになったのはロシアに於ける革命のときで、コロンタイ女史の婦人論が新しい旗印となったと記憶している。私も可成の回数ロシアを訪問したが、寧ろ女性の生活は労働過剰と云う状態だと見受けた。一国の文化の関わる大変大きな問題で、慎重に事柄を進めなければならぬと考えている。一概に

無差別こそ先駆的と考えることが社会進歩の先端を切っているときめて考えるのは甚だ危険であると云わねばなるまい。女性が居なければ社会は成り立たないし、そもそも存在しない。共に協力共存して繁栄を目指すのであればならぬ。

教育は国の礎であると言うより、人間の個性発揮の重要な時期である。若い伸び盛りの年齢で充分に才能を伸ばして貢献すると云うことが、より大きくより広く人を愛し、すべての人に貢献し得るために最も重要な考え方ではないか。

文明の発展が原因で環境問題が登場して来た。逸早くこの対策を講ずる必要がある。このCO₂問題を逸早く感知

し、仙台に於て色々と考察されたのは山本義一東北大学名誉教授であつて、最近云われるようなレーチェル・カーソンではない。このような先見性の学術都市仙台にある高校として、先づこのような先人を更に押しすすめてゆくような人材を養成することが本校の務めとも云えるのではないか。

反省会」(戸高一成著、P H P出版)と軌を一にするものと考えられる。井上先輩の反省は軍略の失敗に留まることなく、人間としての反省に及んでいることから感銘をうけるのだが、二高で井上提督が何を学ばれたか、また何を二高は学ばべきかを考えつづけている。

最近、本校先輩井上成美提督の旧著が再版された。評者が同一の戸高一成氏であることを考えれば、戦争までの海軍政治の中枢に携わった軍令部の反省談をとりまとめ、多くの反省が発表された「海軍

編集係による脚注
・コロンタイアレクサンドラ・コロンタイ一八七二年―一九五二年。ロシアの女性革命家、共産主義者、ソビエト政権下で閣僚、外交官として務める。母子保護や女性解放に尽力。結婚登録制の廃止、性の解放を主張し、子供は家庭ではなく社会で養育されるべきと説いた。
・沈黙の提督井上成実真実を語る」新名丈夫著、新人物文庫。

PTA・同窓会合同新年懇親会 開催のお知らせ

日時：平成22年1月22日(金)18時20分より
会場：ホテルメトロポリタン仙台4階「千代」
電話 022-268-2525
仙台市青葉区中央1-1-1
受付け開始 17:30
会費：5,000円(予定)

奮って御参加下さい。参加御希望の方は、12月25日(金)までに同封の申込用紙でFAX送信か又は電話で同窓会事務局まで御連絡下さい。

同窓会事務局：FAX 022-221-5686
電話 022-221-5651

支部総会 同期会 開催報告

岩手北陵会便り

第17回岩手県在住仙台一
高(中)、二高(中) 合同同
窓会(懇親会)

副会長 鈴木 恒男 (高5回)

標記の会が平成二十一年九月十九日夕刻から盛岡市エスポールにて開催されたのでご報告致します。17回も重ねるとお互い顔見知りとなり、久闊を叙す風景が会場の諸処で見られる中、開始された。



御来賓として仙台二高側は校長の代理に和賀久佳先生、山下健二同窓会副会長が、そして一高側は同窓会副会長菅井茂氏、同窓会事務局局長小崎茂氏が来会され、錦上花を添えて頂いたこと有難く厚くお礼を申し上げる次第です。

今回の幹事役は仙台一高で、まず一高会会長の八重樫雄一氏、続いて二高同窓会側から北陵会の氏家和国会長からご挨拶を頂いた。氏家会長は仙台二高の歴史をひもとかれ、明治三十三(一九〇〇)年に創立され、一九〇二年五学年全部が揃ったこと、自分が在学中柔道の三船久蔵氏が居られたこと等を話された。

和賀先生は、盛岡出身で懐かしかったこと、二高の現状とかこれからの抱負を話されたが、その中で、在校生約千名の内女子学生が二百六十名居り、二年連続で生徒会長となり、今年は応援団長が女子になったこと、学生服を着て頑張っていること、来年三月

卒業期は高62回生となるとありました。また、来年は創立一一〇周年となり厳粛に華美にならないように挙行したいこと、来年から全県一学区と言うか全県から受験できることになったこと、県内六地区を回ったが全地区で二高、一高に高い関心を持っていると感じたことをお述べになった。加えて、今回この一、二高合同懇親会に出席して素晴らしいことと思うことも、今春「名門校ライバル物語」(講談社)が発刊されたが「仙台一、二高」はその最初に掲載されていることも話された。

山下同窓会副会長は、私どもは一、二高は同根とっておること、二高は現在女子がリーダーシップをとっているが十六から十八才の多感な時代の教育は本人、保護者を含めて青春時代そのものであり、勉強、スポーツ、趣味に間違わないように指導あるべきことと話された。また同窓会組織がやや沈滞気味であるので、横だけでなく縦の意見要望をとらえて活性化を図りたい、具体的には会費収入も約一割減なのでそれを改善も含めて創立一一〇周年事業を応援したいので宜しくとのことのお話しであった。

二高出席者

氏家和国(中44)、佐藤秀雄(高1)、和田謙郎(高3)、鈴木恒男(高5)、佐藤邦夫(高12)、千葉知(高19)、武内健一(高21)、橋浦礼二郎(高23)

昭和二十六年卒の 東京同期会

森 郷巳 (高3回)

十月一日、東京新橋の第一ホテルで、東京同期会を開催した。仙台から増本健君、盛岡から和田謙郎君も参加して二十二名。恒例になった冒頭スピーチで、増本君から、世界的にみて評価の高い非晶質金属(アモルファス)の研究とその展開について、分かり易く説明があった。同君が文



化功労者に選ばれ瑞宝重光章を受賞したことについて、遅ればせながら同期生としても喜び誇らしく思った次第。仙台二高を卒業して五十八年、喜寿も迎え、出席した者のなかにも、若干体調不良という者もあったが、皆、意気軒昂。仙台二高時代の思い出話とか近況報告で趣味豊かに生きている話などがあって、爽やかで楽しい会であった。来年もお互いの元気を確かめ合いたいものだと言い交わした。尚、三竿喜正君「古典電車」会田周平君「構えあって構えなし」の近著紹介があった。

会 員 短 信

太宰治と仙台二高とのつながり

高4回 武田 弘



太宰友次郎先生 昭和23
～34年勤務、教諭を経ての
教頭。「毛たまご先生」の
愛称で親しまれた。

今年我々と同じ東北・青森出身の作家太宰治（一九〇九～一九四八）の生誕百年で各地で色々な催しが行われて居るのは皆様良くご存知のことと思う。ただこの高名な作家と我が仙台二高につながりがあることをご存知の方は少ないのでは？

以前図書館から借りて来た創拓社発行の佐川章さんと云う方が書かれた『作家のペンネーム辞典』と云う本の中でこの「太宰治」の由来について「幾つか有る説の一つとして、彼が弘前の旧制高等学校在学中太宰友次郎と云う

同級生が居り、年令が十才ほど上で皆から畏敬されていたというのが有る。

ペンネームを付けるに当たり、その「太宰」を姓とし、名は本名津島修治の「治」を使っただろうとあった。

この太宰友次郎の名前をどこかで聞いたことが有ると思ひ我々が昭和二十四五年頃二中から二高にかけて在学中、国語や漢文を教わったあの太宰先生では……と同窓会の名簿を見たら間違いなくこの名が載って居る。

ただ果たしてこの太宰先生が弘前で津島修治と一緒にいたかどうかは分からず。そこで思ひ出したのが先生の息子さん（一年先輩で在校中同じクラブではないが我々の部へも良く来て先輩の方々と話をして居られた姿であった。そこで早速同窓会名簿の高校3

回生の頁にあった、仙台にお住いの太宰先生の息子さんに思い切って電話をしてみたところ（由来の件は）父から

蔵王遭難碑の慰霊登山を

断念するの記

高6回 清野 英一

仙台二高の歴史の中で、最大の悲劇と語り継がれて来た蔵王遭難については周知のことですので、ここで取り立てて述べることは致しません。

このことについては幾多の慰霊行事が行われ、私も縁があり、その中の幾つかに関わって参りました。

特に、遭難時の校長であられた渡辺氏のご遺族宏氏による鎮魂慰霊の旅のことが、4回生千葉英之氏の健筆で紹介され、北社会で感動の講演があり、母校で公にされて同氏と母校合同の慰霊登山が実施されて以来、その一翼に連なれたことを契機に、渡辺氏が慰霊登山された十月十六日を慰霊登山の日と定め、昨年まで、4回生月田文和氏や同期の大友一郎君らと数回の慰霊登山を行って同窓会報に報告してきました。

「転ばぬ先の杖」とも言うことが有ると、千葉氏、月田氏や大友君に相談のうえ残念ながら、今後人様と一緒にの慰霊登山は断念することになりました。

私的行事として行ってきたことで、個人の体調を申し述べるのは憚りたいのですが支持支援を戴き、慰霊の香華を託されたり、記念事業にご厚志を頂戴したご遺族や同窓各位には申し訳ない気持ちと自らの無念の思いを、お知らせする義務を感じ、敢えて今まで慰霊登山の実施報告を記載して来た同窓会報上で、お詫びとお礼を申し上げようと投稿した次第です。

ご理解賜りますようお願い申し上げます。

有難うございました。

なお、心身に不自由は無いので、個人的には、体調を勘案して全くフリーに折々慰霊のお参りを継続して参ろうと考えております。

「風の環 武藤順九の宇宙」

高3回 高橋 正道

会報41号でも紹介した高校20回卒業、イタリア・ローマを拠点に国際的な活動が続け

ている彫刻家・武藤順九氏の「風の環 武藤順九の宇宙」がPHP出版により十一

風の環 武藤順九の宇宙

神渡良平



武藤氏の活動

月五日発売される。同時に湯川れい子作詞、渡辺俊幸作曲、ボスニアの歌手ヤドランカが歌う「風の環の歌」が出来、本とCDと一緒に発売される。母校図書室へも寄贈予定。

アメリカ・ワイオミング州デビルズタワーなどに永久設置。地元仙台でも母校に近い仙台国際センター前庭にも氏の作品が設置されている。同窓の彫刻家の今後益々の活躍を期待したい。

応援練習で叩き込まれてこそ

高46回 伊東 英範

平成二十一年一月二日、十年以上に亘り参加し続けた陸上部新年同期会を断腸の思いで欠席した。理由は唯一つ。参加するためには、一万キロ以上の移動を必要とするから。私は今、地球の反対側、米国ニューヨークにて日系の銀行に勤務している。営業担当として加国墨国を含めた米国本土へ出張し、顧客の設備投

資や運転資金等をするための融資業務に従事。使い慣れない言語と異なる文化の中で、日々悪戦苦闘を繰り返し、苦勞もなかなか耐えない。日々の業務や生活の中で厳しい状況に追い込まれたときに、必ず思い出すのは仙台二高で過ごした三年間。終生の友と切磋琢磨した勉学や陸上部での活動はもちろんだが、

入学二ヶ月間の苛烈な応援練習は今もって我が精神の中心に据えられている。人がベクトルを合わせた時に得られる爆発的なエネルギー、物事を苦しみながら達成したときの達成感や開放感、世の中にはいくつかり不尽なものが存在し、それに耐えること、乗り越えるために弛まず努力することが必要だということ。社会に出て必要とされる精神的鍛錬は、すべてこの二ヶ月の内に「叩き込まれた」。卒業後、大学・社会人と進むにつれ数多くの人々と出会ったが、永遠のライバル仙台一高は別として、仙台二高の生徒全体応援練習は日本で一番過酷であった。それが今の私の精神的な支柱になっていると感じている。今、我が母校では共学化・全県一学区化が推進されていると聞く。これまで以上に多種多様な人材が集まるであろう我が母校の後輩諸賢には、我々の時代以上に峻烈で濃厚な高校時代となるよう期待している。

駐在生活一年半。帰国まであと三年半。平成二十五年一月二日、旧友と一番町の居酒屋で笑って再会できる日を心待ちにしている。

前衛の先輩

高30回 高橋 敦

今年六月から八月にかけて宮城県美術館で開催された特別展「前衛のみやぎ」で、わたしたちの先輩三人の作品を鑑賞した。自分は芸術音痴だが、偉大な先輩の作品を目の当たりにし、日常と離れた感覚を味わわせてもらった。

伝統的な彫刻素材だけでなく、新しい素材による作品にも取り組んだ。一九八一年、新しく整備された仙台駅西口に「青葉の風」を制作。母校の校舎内にも、ブロンズの「踊りno9ー伸びゆくものー」が飾られている。

鑑賞後しばらく経ってから、県美術館学芸員の三上満良さんにお話を聴く機会があった。「前衛」とは二十世紀に現れた、旧来の芸術観や表現形式を大胆に変革する動きのことである。特別展では十四人の作品を展示しているが、中33回の昆野恆さん（一九一五―一九八五年）、高2回の佐々木正芳さん（一九三二―）、中30回の志賀廣さん（一九二二―一九八八年）の三人がわたしたちの先輩だ。「前衛のみやぎ」の作品目録にある作者略歴などで三人を紹介する。昆野さんは仙台市に生まれ、東京美術学校（現東京芸大）で学んでいるが、同期に佐藤忠良氏、舟越保武氏がいる。

佐々木さんは神奈川県生まれ、終戦後に仙台に移り住んだ。旧制二中時代に、先輩でもあり母校で教諭となっていた二宮不二麿氏に美術を学んだ。東北大学経済学部に進んでからも絵を描いた。そして「朝日ジャーナル」の表紙を飾るなどした默劇シリーズで知られる。一九七一年、自由美術展で鑑光賞、一九七二年第一回宮城県芸術選奨を受賞した。

志賀さんは多賀城市の生まれで、旧制仙台高等工業学校建築科を卒業し、生涯建築家・建築教育家、画家の両面で活躍した。一九四九年、新現美術協会を設立、仲間とともに新しい方向に向かって競い合



県美術館に展示された志賀廣さんの作品

い、自由で多様な芸術を求めた。そして一九六四年、モダンアート展協会賞を受賞した。展示室に立ち、三人の作品をじっと見つめていると、深いところに引きつけられそうだった。具象と違って分かり

やすくない。一体何を描いているのだろう、何を表現したのだろう、訴えたいのだろうーと考え込んでしまう。制作当時の時代背景や個人の思索を理解しないと、作品も理解できないのかもしれない。共通しているのは、何事かを訴える強い力が作品が発していることだ。パワーあふれる先輩がいたことを気付かされた展覧会だった。

昆野さんについては、来年一月九日から宮城県美術館で、小企画展「昆野恒の作品から」が開催される予定だ。興味のある方はぜひご覧ください。

「クラブOBの常任委員化」のご提案 高22回 鈴木 誠一（理事）

「明るく楽しい同窓会」「若い人も気軽に集える同窓会」の具現化のために、「クラブOBの常任委員化」を先号にてご提案いたしました。さっそく具体的に行動しようと考えております。現在、クラブOB会が組織として活動しているのは、硬式野球部、軟式野球部、ラグビー部、サッカー部、ハンドボール部、バ

スケートボール部、バレーボール部、柔道部、剣道部、合気道部、山岳部、ブラスバンド部、応援団などです。是非、クラブOB会から次回の評議員会に、お気軽に参加していただき、同窓会活動のための貴重なご意見をいただきたいと考えております。まだクラブOB会が正式に組織されていない運動部、学芸部は、こ

の機会に早急にクラブOB会を立ち上げていただきたく存じます。担当理事として、個別のクラブOB会にできるだけ直接接触して、具体的に努力していく所存です。各回期という卒業年度代表である横軸から、クラブOB会という縦軸を加えて、縦横の関係から、若い世代のかかわりを求め、不本意にも連絡の途切れている同窓生の発掘に努めたいと考えます。これにより、今後の同窓会活動を担う世代の声を同窓会運営により多く反映されることが期待できます。同窓会活動に熱き関心を寄せる卒業生の意見をより多く集約するために、歴史的縦軸である「クラブOBの常任委員化具体策」を実践して参ります。今実際に現役の面倒を現場で見られているクラブOBの声を、直接的に同窓会に反映されることにより、現実に即した「明るく楽しい同窓会」「若い人も気軽に集える同窓会」の目標は、達成されるものと考えます。同窓会の活性化、発展の為に、皆様のご協力をお願い申し上げます。

同窓会会費の納め方について

・納入時期

会費の納入期限は、余裕を取って九月末と設定しておりますが、総会の時期である七月を御念頭に御納入頂ければ幸いです。尚、今後は総会（通例七月上旬）の会場でも、一月PTA・同窓会合同新年

懇親会の会場でも、会費納入の受付けを設けますので、御利用下さい。また、多年に亘る未納分の一括御納入も大歓迎致します。

・通信欄

会費の振込用紙（払込取扱票）の通信欄を活用し御連絡や御意見などをお寄せ下さい。内容によっては御了解を頂いた上で会報に掲載致します。（理事会）

現役生の活躍

陸上部―三段跳

「インターハイを終えて」

三年六組 田子 竜也

引退を迎えて陸上部から離れている今、振り返ってみると、現役の頃はさほど感じなかった思い、自分が陸上を通して過ごしてきた毎日がどれほど貴重で充実していたかに気づきます。

三年生となり迎えた高校総体。五月上旬に始まった仙台・塩釜地区の予選会、県大会、東北大会、そして七月下旬から八月上旬にかけて奈良県鴻

ノ池競技場で開催されたインターハイを終えるまでの約三ヶ月間は、自分でも記憶におさまりきらないほど内容の濃いものでした。いつ敗れて引退の二文字が突きつけられるとも分らない状況に、ただ一日でも多く走り、跳んでいたと願っていた自分を思い出します。

去年同じく三段跳でインターハイに出場された先輩の応援で埼玉に行った時とは違い、自分もこの舞台で十分に戦えるという自信は持つようになっています。目標は決勝進出

に定め、予選通過標準記録の14m50の一点に集中していました。現地入り後の調整練習

ではとても仕上がりが良く、前日の練習も良い感じでまとめられ、自分としては最高の状態で前日までを乗り切り、試合当日を迎えることができました。

当日、前日からの雷雨が気がかりでしたが、アップを終える頃には晴れ、予選三本の試技が始まりました。全体的に記録が低迷する中、自分も思うように記録を伸ばせません。結果は六十六人中二十八位で自己ベストにも及びませんでした。結果を出すことを目標としてきたので悔いはありませんでしたが、ここで幕を下ろせることに喜びを感じました。

試合後は、他種目での驚異的な高校新記録などを目の当たりにして、すごく興奮しました。自分がここで経験したことはこれからも色あせることのない一生の宝です。そして後輩諸君には更なる活躍を期待しています。

最後になりますが、日頃から懇切丁寧に指導してくださった黒崎先生、応援してくださった先生方、生徒の皆さん、そ

して同窓会の皆様に感謝と御礼を申し上げます。

水泳部

「インターハイに出場して」

三年八組 原田 健登

「まだいける、まだいける、最後まであきらめるな。」私はそう自分に言い聞かせてアンカーを泳ぎ切った。結果、私たち水泳部の窪田、菅原、斉藤、原田は四百mフリーリレーで、八月に大阪で行われるインターハイの出場権を獲得した。私はゴールした瞬間の、あの喜びをまだ鮮明に覚えている。

インターハイは本当に圧巻



であった。国際大会が行われる大きなスタジアム、多くの観客、そしてなにより全国というレベルの高さ。そこで泳

げたという事は私にとって本当に最高の経験となったし、誇りとなった。

私はこれまでの水泳人生を通して、「最後の最後まで、あきらめない」ということがどれほど重要であるかを知った。自分で限界を作ってしまったらそれ以上先はもう進めない。これは水泳だけでなく、勉強や今後の人生においても当てはまることだと思う。私は水泳で得たかけがえのない経験をいかして、受験という壁を乗り越えていきたい。

水球部

国体水球競技に

参加して

二年二組 浪間 新太

私は九月十日から十三日までの四日間、新潟県の柏崎市で開催された国体水球競技に宮城県代表として出場した。仙台二高からは私を含め二名が宮城県代表に選出された。ここ数年、宮城県は国体本戦出場から遠ざかっていたが、

今年は東北予選で山形県に次ぐ二位という成績を残し、本戦出場を果たしたのである。

国体本戦、初戦の相手は埼玉県。先だって八月に大阪で行われたインターハイを制した埼玉栄高校単独チームだ。初戦から全国屈指の強豪チームと試合をするに当初は不安を感じたが、それは期待に変わって行った。自分達の水球がどこまで全国トップレベルに通用するのかわかるのには、絶好の相手である。

そして、試合が始まった。1ピリオドは宮城県が先制点を挙げ、DFも上手く機能し、2-1。しかし2ピリオドから埼玉県の固い守りからのカウンターにペースを崩され、終ってみれば3-17と大差をつけられ敗北に帰した。力の差は大きかったが、何回か良い形を作ることができた。最後に活きる良い経験となった。

最後になりますが、国体出場にあたりお世話になった先生方、そして応援してください。本場にありますが、とうござい



フェンシング部 剣と歩んだ道

三年二組 孫 租博

「昔は二高も強かったんだけどなあ……。」

二年程前に、ある試合で言われた言葉である。そのとき部員はたったの四人で、まさに風前の灯火であった。私たちが弱いと言われたような気がして、とても悔しかったことを今でも鮮明に覚えている。以来その悔しさを噛み締め、がむしやらに練習を積んだ。そして最後の県総体で優勝し、インターハイへの切符を手にしたのである。

今年のインターハイは去る八月、奈良県で開催された。関西に行くのは初めてで、酷暑と雰囲気の違いに圧倒され、まるで外国に来てしまったかのように思われた。

試合当日。それまでの練習は十分とは言えなかったが、無我夢中で攻め、守った。予選終了時での順位は八位。悪くない、上位入賞を狙える。そう思い始めていた。だが決勝トーナメント初戦の相手に決まったのは、東北大会で辛勝した、自分の苦手とする選

手であった。正直、最悪だった。試合の前に私は気が滅入ってしまった。

そして迎えた決勝トーナメント一回戦。序盤はリードしていた。悪くない滑り出しだった。しかし中盤から相手の猛攻を防ぎきれず、防戦一方で終盤を迎えた。剣先が定まらず、動きも精彩を欠いていたように思われた。気持ちの面で負けていたのかもしれない。最終的にベスト三十二で終わった。

二高フェンシング部として二十年ぶりにインターハイに出場できたものの、何ら結果を残すことはできなかった。しかし、そこに至るまでの道のりがかけがえのないものであることは間違いない。あのがむしやらな武者修行の苦しさによって、自分は勝利の栄光だけではなく、敗れた悔しさも味わうことが出来たのではないのか。引退した今になってそう思えるのである。

文末で恐縮ではありますが、日頃からお世話になりました顧問の先生、未熟な自分を高めてくれた先輩諸氏、そして自分を支えてくれた同輩・後輩諸君に厚く御礼を申し上げ、

二高フェンシング部の今後一層の発展を願い結びと致します。

囲碁部

全国大会に出場して

三年八組 星 哲彦

六月二十七日、私たちは、男子団体戦の宮城県予選を勝ち抜いて、そのちょうど一カ月後の七月二十七日に東京で開催される全国大会に出場する資格を手にすることができた。

私たちと同じように各都道府県予選を勝ち抜いてきたほかの出場校は、新たに入れ替わり、昨年の入賞校である開成、筑駒の姿はなかった。

どの高校が、どれほどの実力をもっているのか推し量ることはできなかった。私はこの種目で全国に出場するのは二回目だが、むしろ去年の全国四位という実績が重く感じられ、去年以上に緊張していた。

予選リーグは三回戦あり、六校から一校が枠抜けする。そして、一戦も負けられない試合が続く。初戦から緊張まみれだった私を副将の加藤淳

史先輩と三将の紺野文敬君が助けてくれ、私たちは無事枠抜けた。

団体戦の醍醐味はチームワークである。

個人の棋力だけでなく仲間を信じて突き進む結束力が必要なのである。

私たちは決勝トーナメントの二回戦（準決勝）で敗れてしまったが、それでも四位という好成績を残すことができた。

最後に、今まで私たちを支えてくださった顧問の佐藤繁先生、先輩、OBの方々に心からお礼を申し上げます。

ヨット部

インターハイに出場して

三年八組 渡辺 祐記

今年ヨット部は、十二年振りにインターハイへの出場を果たした。我々は誰にも見られずに活動している中で、一般生徒には、ただ遊んでいるようにしか思われていないようである。しかし、我々はひそかに頑張っていたのだ。

入部当初は、全国の地を踏むなどとは夢にも思わなかった。また目指していなかった。

けれどもヨットは楽しかった。今までやってきたどんなことよりも夢中になれた。それは仲間たちも同じだったと思う。やがて二年生になり、勝つことに楽しみを見出していた。

本格的な指導者がいない中、OBをしきりに呼び、ヨットの教本などを読みあさり、なんとかして上達しようという練習に励んだ。そのうちにライバルとの距離も徐々に縮まってきた。

三年生の夏、インターハイ出場を果たすことはできたのだが、結果を残すことはできなかった。周りは皆、常連校であった。自分達のように途中から頑張り始めたチームではないのだということを感じ、

みじめな思いをした。少しでもミスをするを取り返しのつかないほどトップ集団と離されてしまう。結局、真ん中の集団にもしがみついていた。僕らがやりきれなかったことを先輩達に遂げてもらいたい。今年のインターハイ出場により、二高ヨット部が再興に向かえば良いと思う。僕ら

が、インターハイという大舞台を経験することができたのは、多くの先生方、OBの方々のおかげである。

部員一同心からお礼を申し上げます。

同窓会総会 報告

去る七月四日（土）に江陽グランドホテルを会場にして平成二十一年度同窓会総会が開催されました。出席者は百十七人でした。その式次第は次の通りです。

同窓会総会

（十七時～五階鳳凰の間）

開会の辞
挨拶

同窓会長西澤潤一（中44回）「母校の今一番の問題は男女共学化。女子といえ差別があつてはならない。共学化のデータを客観性厳格に記録し、どういう効果が有ったのか絶えず反省する必要がある。共学化に対する教育科学的資料が判断材料となる。男子生徒から元気が無くなったとも聞く。共学化されたから、これで終わりではない。生徒達の天分

が伸びる教育が大切。卒業生に学士院賞受賞者が5人いる。母校も全国版になった。世界の二高となって頂きたい。」

学校長 庄司恒一（高22回）

「日頃からの物心両面の支援に感謝したい。生徒達は学業、部活動、生徒会活動に取り組み資質を開花させている。生徒会長には昨年女子が当選した。応援団幹部は6名となり、現団長は三年生男子。五月一日の創立記念日には順天堂大学の和賀井先輩に超音波診断法の研究に関し御講演頂いた。百十周年行事は同窓会と共に進めたい。」

来賓紹介

叙勲者紹介

全国大会激励金贈呈

フェンシング部

議長選出 西澤潤一（会長選任

協議

第一号議案

平成二十年度事業報告―承認

第二号議案

平成二十年度決算―承認

監査報告

会計監事 犬飼健郎

第三号議案

平成二十一年度事業計画

―承認

第四号議案

平成二十一年度予算―承認

第五号議案

創立百十周年に向けて次の事項の承認を得た。

- ・百十周年事業を学校と協議して進める。
- ・総会終了後に同窓会側に百十周年事業作業組織（任意）を設置する。編成は理事会に一任。
- ・そして学校側と協議し事業案を評議員会に諮る。

報告

会費増収への努力―その一環として総会会場にも会費納入受付を設けた。

会場からの意見

- ・百十周年事業は現在の二高生にプラスになるものでなくてはならない。事業を決める前にコンセプトを明確にして欲しい。
- ・二高内男子生徒間で「女子に任せておけば良い」という風潮があると聞いている。共学化過渡期世代（別学共学共存期）高60回・61回の意見も聞いた方が良い。

閉会の辞

同窓会懇親会

（十八時〜五階鳳凰の間）

物故者への黙祷

開会の辞 和賀久佳（高32回）

校歌斉唱

当番幹事代表挨拶

半田 賢（高20回）

乾杯 若生幸一郎（中43回）

アトラクション

二高講師宮尾友加里様によるピアノ演奏

応援歌斉唱

応援団幹部卒業生による旗振り

万歳三唱

同窓会副会長

麻喜宏雄（高9回）

松谷秀則（高33回）

閉会の辞

評議員会報告

第一回評議員会

去る四月二十五日（土）十四時〇〇分から仙台二高北

陵館に於いて平成二十一年

度第一回評議員会が開催さ

れた。

開会

議長選出 岡崎忠（高12回）

協議

第一号議案

仙台二高創立百十周年記念

事業の実施について

標記事業実施について

本年総会の議題化に承認を得た。提案趣旨説明は次の通り。

・過去十年区切りのところで記念事業を行ってきた。

・来年は百十周年を迎える。

・記念事業は本来的には学校側が主体となるべきものであるが、現時点で学校側から特段の情報は得ていない。もし学校側が何らかの記念事業を行うとするなら、従来の経緯から同窓会側としても何らかの協同は実施せざるを得ない。仮に協同で記念事業を行うとするなら、来年平成二十二年の総会の承認では間に合わない

ので、今評議員会で次の二点で御議論頂きたい。

①同窓会側の協賛事業に

関し本年総会の議題とする

るか否か、②同窓会として

の独自事業を行うか否か、

行うならその事業。主な議論は次の通り。

・同窓会側の態度をこの評

議員会で決定してはどう

か。

・同窓会独自事業として共

学化に至る経緯を踏まえ

た同窓会史を編纂しては

どうか。

・完全共学化に移行する画

期的な時期なので百周年

以上のことをすべきでは

ないか。

・名簿の発行、二高百年史

以降の十年史の編纂、生

徒のための施設整備はど

うか。

・記念事業に反対ではない

が、母校の男女共学化に

ついての考え方を出した

第二号議案

同窓会会員資格の明確化と

常任委員としてのクラブO

B会の活用

・会員資格を明確化したいという提案と、クラブOB会の世話人的な卒業生に各回期の常任委員の枠を活用し同窓会活動に関わって頂き同窓会をより活発にすることの提案とについて議論が交わされ、引き続き検討することとなった。

主な議論は次の通り。

・現規約では同窓会員の定義が不明確である。

・会員資格の変更については会則の変更は不要、細則で決めれば良い。

・この二件を一緒に議論するには無理がある。分離すべき。

・各クラブOB会の活動状況を調査し一般会員とう結びついていくか把握すべき。

・クラブOBは常任委員に加えても良いのでは。また各支部代表も常任委員にいてはどうか。

・この常任委員化については会則の改正が必要ではないか。

・理事会でもっと練った上で再提出すべきではないか。

その他

・同窓会の公式サイトは面白くない。公式サイト改善を望む。

・従来公式サイトが無いままであり、公式サイト設置の要望が強く、昨年漸く開設した。内容の充実に努めたい。

・二月十六日発生した、生徒の校舎飛び降り事故について状況の説明が欲しい。

報告

・イトン校との交流事業について会計上不足は生じなかった。よって同窓会側からの補填も不要である。

閉会 十六時〇〇分

第二回評議員会―総会に向けて

去る六月六日(土) 十四時から仙台二高北陵館に於いて定期総会へ向けて平成二十一年度第二回評議員会が開催された。

開会

挨拶

議長選出 岡崎忠(高12回)

協議

第一号議案

平成二十年度事業報告

第二号議案

平成二十年度収支決算報告
・名簿管理のシステムの改善を行った。
・会報発送費等の減額はその効果である。

第三号議案

平成二十一年度事業計画案
第四号議案

平成二十一年度収支予算案
・年会費収入が下がっている。増収の方策はあるのか。

・会報に会費納入を御願いする記事を掲載し、又納入額、納入率の上位番付も明記した。

・教育問題研究費とは何か。

・別学共学等を含む教育問題関連の資料購入や講演会費用を想定している。

・会報がマンネリ化しているのではないか。

・今後新企画を三本程度検討中である。

第五号議案

仙台二高創立一一〇周年に向けて
・先回の評議員会で百周年記念事業を行うことは了承されたと考え。百周年の時の程ではなくても準備委員会を任意で設置し内容等を検討し評議

員会に諮る。

・名簿は八十周年、九十周年、百周年と三回作ったが、費用の問題がある。

また、名簿作成の際に各回期の不明者情報を求めたが一人の不明者に就いて三通りの情報提供があり取り扱いに困った。

・名簿の精度向上への助言は実行に移したい。

その他

・昨年の会報四十一号の『二高共学化後の状況』の中で『二年生女子生徒数六十九は退学等による減少』と有ったが、正しくは転学等とすべき。どのような取材をしたのか？

・同窓会報は同窓会が主体的に編集している。御指摘の点は同窓会側の独自取材。学校からは転学との説明があったので、今号にその旨を記載する。

閉会 十六時二十三分

理事会等記録

平成20年11月19日(水) 理事会
会 東京同窓会支部への出席報告。同窓会名簿管理システ

ムの更新について。生徒会長選挙の結果についての報告。会報(41号)発行作業進捗に関する報告。各回期常任委員との連絡体制について。教育講演会に関する検討。同窓会会則に関する議論。共学化に伴う今後の同窓会の在り方について。

平成20年12月18日(木) 理事会

11月福島北陵会への出席報告。PTA・同窓会合同新年懇談会の準備状況について。同窓会会則に関する検討。会報計報欄への掲載取り扱いについて。教育講演会に関して。平成20年度中間収支報告。平成22年以降の同窓会の在り方について。

平成21年1月22日(木) 理事会

PTA・同窓会合同新年懇談会の準備状況の確認。教育講演会の講師の人選と費用に関する検討。同窓会会則に関する議論。慶弔関係内規に関する議論。今後の同窓会の在り方について。

平成21年1月23日(金) PTA

・同窓会合同新年懇談会

平成21年2月12日(木) 理事会

教育講演会の講師の人選と費用に関する検討。同窓会会則に関する議論。慶弔関係

内規に関する議論。平成21年度予算案に関する検討。平成22年以降の同窓会の在り方について。クラブ活動支援費支払いの報告。

平成21年3月12日(木) 理事会
会 東京北社会、同窓会入会式、卒業式への出席報告。教育講演会の講師に関する検討。創立百十周年に関する議論。

慶弔関係の内規に関する議論。同窓会会則に関する議論。平成21年度予算案に関する議論。特に会費収入見込みについて。

平成21年4月8日(水) 理事会
会 3月14日関西西北陵会への出席報告。慶弔関係の内規に関する見直しの議論。平成21年度予算案に関する検討。平成21年度評議員会の議案と進め方に関する検討。創立百十周年に関して。同窓会会則について。会報(春季号)の準備に関する報告。

平成21年5月13日(水) 理事会
会 創立百十周年事業に関して議論。クラブOBの常任委員化に関して議論。平成21年度予算案について検討。会報(春季号)の準備状況に関する報告。

平成21年5月18日(月) 庄司恒一校長との懇談
生徒二月校舎転落事故のそ

の後の状況について。創立百十周年事業について。

平成21年7月24日(金) 理事会
会 総会の反省。創立百十周年事業対策班の編成に関する検討。創立記念事業は飽くまでも学校主体ではあるものの、同窓会主体の事業もあるべしとの議論。クラブOBの常任委員化に関する検討。

平成21年9月9日(水) 理事会
会 7月29日福島北陵会への出席理事の報告。創立百十周

の後の状況について。創立百十周年事業に関する作業の進捗状況について。クラブOBの常任委員化について。会費収入状況の落ち込みへの対応策の検討。

二高共学化後の状況

― 共学化三年目、新応援団長に二年女子

同窓会教育問題担当

本県の県立高校の一律共学化方針により仙台二高の共学化日程が発表された平成十五

年七月以来、同窓生や関係者の間から異論が噴出し、同窓会としても取り組んで来たの

は会報三十六号(平成十五年十二月発行)以降で御知らせしていた通りである。その共学化が実施され当平成二十一年度で三年目となった。従って、本年三月に卒業した高校61回生が別学最終同期であり、来年平成二十二年三月に卒業する学年が共学一学生となる。平成二十一年十一月時点での在籍数は、三年生男子二四七名(二五二)、(括弧内は入試合格者数、以下同様) 女子六八名(七〇)、計三一五名(三三二)、二年生男子二二三名(二二四)、女子九七(九六)名、計三三〇名(三三〇)、一年生男子三三五名(三三四)、女子九八名(九七)、計三三二名(三三〇)である。三年生男子の五人減が目を引く。全学年合計では九五八名であ

り内女子が二六三名、女子比は二八%となる。学級編成は、男女とも各学級にほぼ均等に配分されている。文科系・理科系の学級分けは2年生から為されている。次表に各学年・各学級に於ける生徒在籍状況を示す。また、生徒会の新会長には二期続けて二年生女子、そしてさらに新応援団長にも二年生女子が選出されている。



尚、母校近隣の旧宮城第一女子高は既に平成二十年度から共学化され、校名は「宮城県宮城第一高校」(註:誤植に非ず)と変更された。また、永年の好敵手である仙台一高は平成二十二年度から共学化されるが、こちらは校名の変更は無い。これは前号にてお知らせした通りである。また、

平成21年度組別在籍者数

学年	組	男子	女子	合計
1年	1組	28	13	41
	2組	28	12	40
	3組	28	12	40
	4組	28	12	40
	5組	28	12	40
	6組	28	13	41
	7組	28	12	40
	8組	29	12	41
	合計	225	98	323
	入試時合格者数	224	97	321

2年	文系	1組	24	19	43
		2組	23	20	43
		3組	29	10	39
	理系	4組	29	10	39
		5組	30	9	39
		6組	29	10	39
		7組	30	9	39
		8組	29	10	39
		合計	223	97	320
		入試時合格者数	224	96	320

3年	文系	1組	29	11	40
		2組	32	9	41
		3組	31	10	41
	理系	4組	30	8	38
		5組	31	8	39
		6組	31	8	39
		7組	29	9	38
		8組	34	5	39
		合計	247	68	315
		入試時合格者数	252	70	322

全体合計	男子	女子	合計
	695	263	958

平成21年度 年会費納入率・納入額上位回期

【納入率上位5回期】

順位	回 期	納入率
1	中42回	40.28%
2	高11回	39.78%
3	高4回	38.73%
4	高3回	37.91%
5	中41回	37.50%

【納入額上位5回期】

順位	回 期	納入額
1	高11回	321,000円
2	高6回	243,000円
3	高4回	237,000円
4	高14回	237,000円
5	高10回	234,000円

(平成21年11月11日現在)

市内他高校は、宮城第二女子高及び宮城第三女子高が来年平成二十二年度から共学化され、校名も『仙台二華高校』及び『仙台三桜(さんおう)高校』と各々変更される。他方、仙台三高(昭和三十八年創立、仙台市宮城野区鶴ヶ谷)は平成二十一年度から既に共学化されたが、校名の変更は無い。

この平成二十二年度共学化完成年度に向けては、昨年から県教育委員会で見直しの議論が興り、一律共学化方針は年明けの平成二十一年一月十六日の委員会で一度は否決された(平成二十一年一月十七日河北新報等)が、続く二月五日の委員会で同一議題が再審議され、賛成五反対一にて当初計画通りの一律共学化推進が議決された(二月六日河北新報等)。委員間で一度否決された議題が何故か再提出されるという事態であった。

2009年度 同窓会費納入状況

平成21年11月11日現在

会 報 発送数口数 入金額				会 報 発送数口数 入金額				会 報 発送数口数 入金額				会 報 発送数口数 入金額			
中27	9	1	3,000	高 1	135	41	123,000	高22	293	62	186,000	高43	198	11	33,000
中28	11	1	3,000	高 2	164	49	147,000	高23	194	44	132,000	高44	194	6	18,000
中29	16	2	6,000	高 3	182	69	207,000	高24	199	31	93,000	高45	220	16	48,000
中30	15	2	6,000	高 4	204	79	237,000	高25	195	32	96,000	高46	221	18	54,000
中31	15	0	0	高 5	203	70	210,000	高26	221	44	132,000	高47	240	17	51,000
中32	14	2	6,000	高 6	223	81	243,000	高27	204	28	84,000	高48	235	11	33,000
中33	17	2	6,000	高 7	185	54	162,000	高28	201	40	120,000	高49	251	12	36,000
中34	22	5	15,000	高 8	217	71	213,000	高29	187	21	63,000	高50	230	12	36,000
中35	23	6	18,000	高 9	224	76	228,000	高30	189	26	78,000	高51	234	8	24,000
中36	25	6	18,000	高10	271	78	234,000	高31	181	19	57,000	高52	229	17	51,000
中37	42	10	30,000	高11	269	107	321,000	高32	167	22	66,000	高53	253	10	30,000
中38	35	7	21,000	高12	251	72	216,000	高33	150	22	66,000	高54	256	12	36,000
中39	48	17	51,000	高13	222	54	162,000	高34	132	13	39,000	高55	272	23	69,000
中40	55	14	42,000	高14	259	79	237,000	高35	147	13	39,000	高56	267	26	78,000
中41	64	24	72,000	高15	242	62	186,000	高36	157	13	39,000	高57	285	24	72,000
中42	72	29	87,000	高16	227	51	153,000	高37	146	8	24,000	高58	283	37	111,000
中43	80	27	81,000	高17	237	55	165,000	高38	153	9	27,000	高59	293	32	96,000
中44	94	26	78,000	高18	199	51	153,000	高39	171	11	33,000	高60	289	48	144,000
中45	112	32	96,000	高19	194	50	150,000	高40	173	18	54,000	高61	303	67	201,000
中46	113	28	84,000	高20	176	34	102,000	高41	180	16	48,000	合 計	14,134	2,530	7,590,000
中47	129	43	129,000	高21	246	53	159,000	高42	200	11	33,000				

部 活 動 の 成 果

運 動 部 成 績

大会名 部 名	平成20年度		平成21年度	
	新 人 大 会 等		定期戦	総 合 体 育 大 会 等
硬 式 野 球 部	地区トーナメント 1 回戦 仙台二 5 - 6 仙台商 敗者復活 1 回戦 仙台二 2 - 1 仙台電波 2 回戦 仙台二 2 - 0 塩釜 3 回戦 仙台二 1 - 10 聖和		仙台二 仙台一 4 - 3 勝ち	地区トーナメント 1 回戦 仙台二 0 - 3 仙台電波 敗者復活 1 回戦 仙台二 2 - 4 仙台東
軟 式 野 球 部	1 回戦 仙台二 0 - 7 塩釜		仙台二 0 - 5 仙台一 負け	1 回戦 仙台二 1 - 0 仙台工 2 回戦 仙台二 2 - 7 仙台一
陸 上 競 技 部	県新人大会 <男子> 100M 6 位 吉田 淳 800M 2 位 荒川 和哉 400M R 8 位 (目黒・吉田・高崎・田子) 走幅跳 5 位 目黒 了 三段跳 5 位 田子 竜也 7 位 目黒 了 <女子> 7 種競技 3 位 一瀬 輪子 東北新人大会 800M 3 位 荒川 和哉			県総体 <男子> 100M 8 位 吉田 淳 800M 2 位 荒川 和哉 400M R 8 位 (鈴木・吉田・高崎・畑岡) 走幅跳 3 位 工藤 健太 三段跳 1 位 田子 竜也 2 位 目黒 了 7 位 工藤 健太 <女子> 7 種競技 5 位 一瀬 輪子 東北大会 三段跳 5 位 田子 竜也 インターハイ出場 7 位 目黒 了 全国高校総体 三段跳 予選 1 組 15 位 田子 竜也
水 泳 部	<競泳> 県新人大会 男子 学校対抗 62点 第 3 位 200m 自由形 原田 健登 第 2 位 400m 自由形 原田 健登 第 1 位 100m バタフライ 斎藤 自快 第 6 位 200m バタフライ 斎藤 自快 第 4 位 100m 平泳ぎ 高橋 侑大 第 6 位 200m 平泳ぎ 高橋 侑大 第 6 位 200m 個人メドレー 中角 美穂 第 5 位 400m R (佐々木・斎藤・富樫・原田) 第 4 位 400m M R (原田・高橋・斎藤・佐々木) 第 3 位 800m R (原田・高橋・斎藤・佐々木) 第 3 位 東北新人大会 200m 自由形 原田 健登 第 4 位 400m 自由形 原田 健登 第 3 位 <水球> 県新人大会 第 2 位 県室内選手権 第 2 位 東北室内選手権 第 4 位			<競泳> 県総体 男子 学校対抗 58点 第 3 位 50m 自由形 窪田 平佑 第 3 位 100m 自由形 窪田 平佑 第 8 位 200m 自由形 原田 健登 第 2 位 400m 自由形 原田 健登 第 3 位 100m バタフライ 菅原 崇広 第 7 位 200m バタフライ 斎藤 自快 第 5 位 100m 平泳ぎ 高橋 侑大 第 8 位 200m 平泳ぎ 高橋 侑大 第 6 位 400m R (窪田・菅原・斎藤・原田) 第 2 位 800m R (原田・菅原・窪田・斎藤) 第 3 位 東北大会 200m 自由形 原田 健登 第 6 位 400m R (窪田・菅原・斎藤・原田) 第 5 位 全国高校総体 400m R (窪田・菅原・斎藤・原田) 第 92 位 <水球> 県総体 第 2 位 仙台二 3 - 10 柴田 東北総体 第 3 位 仙台二 6 - 8 柴田 仙台二 27 - 3 黒沢尻工 仙台二 1 - 21 山形工
サ ッ カ ー 部	地区予選 仙台二 3 - 0 仙台東 仙台二 2 - 0 塩釜 順位決定戦 仙台二 0 - 1 利府 県大会 1 回戦 仙台二 3 - 1 古川黎明 2 回戦 仙台二 1 - 0 宮城高専 準々決勝 仙台二 0 - 1 利府 県ベスト 8			地区予選 仙台二 2 - 1 仙台南山 仙台二 4 - 1 富谷 仙台二 2 - 1 学院榴ヶ岡 県大会 1 回戦 仙台二 1 - 0 米谷工 2 回戦 仙台二 2 - 0 石巻工 準々決勝 仙台二 0 - 3 東北 県ベスト 8
ラ ゲ ビ ー 部	予選リーグ 仙台二 65 - 0 合同 A 仙台二 46 - 7 東陵 仙台二 5 - 5 古川工 グループ 1 位 決勝トーナメント 仙台二 14 (14-7) 10 仙台 仙台二 12 (12-29) 44 仙台育英 県ベスト 8		勝ち 47 - 5 昨年度も圧勝。これで三連覇です。今年度は一高にて元日開催します。ぜひおいで下さい。	1 回戦 仙台二 26 (21-0) 5 宮城高専 2 回戦 仙台二 41 (24-0) 12 利府 準々決勝 仙台二 5 (5-5) 24 仙台工 県ベスト 8
ハ ン ド ボ ー ル 部	1 回戦 仙台二 28 (15-8) 18 宮城工 2 回戦 仙台二 22 (6-4) 16 名取北 準々決勝 仙台二 17 (8-19) 38 利府 県ベスト 8		勝ち 仙台二 仙台一 19 (13-6) 7	2 回戦 仙台二 30 (15-11) 22 仙台北 準々決勝 仙台二 17 (6-11) 18 塩釜 延長 1 - 2 県ベスト 8
バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 部	仙塩地区予選会 仙台二 104 - 50 宮城工 " 38 - 55 仙台一 " 53 - 85 泉館山 " 54 - 61 泉 地区予選敗退		負け 42 - 91 通算成績 32 勝 27 敗	仙塩地区予選会 仙台二 75 - 53 泉松陵 県大会 1 回戦 仙台二 124 - 42 古川学園 2 回戦 " 50 - 91 古川工 2 回戦敗退
バレーボール部	仙塩地区大会 仙台二 2 - 0 仙台工 仙台二 1 - 2 仙台一 仙台二 0 - 2 東北工大付 県大会 1 回戦 仙台二 1 - 2 仙台東		負け 0 - 3 (22-25) (16-25) 28-30 通算 29 勝 30 敗	1 回戦 仙台二 0 (9-25) 2 柴田

大会名 部 名	平成20年度	定期戦	平成21年度
	新 人 大 会 等		総 合 体 育 大 会 等
テ ニ ス 部	団体 1 回戦 仙台二 5－0 宮城高専 2 回戦 仙台二 0－3 仙台三		男子団体 1 回戦 仙台二 0－2 東北 男子個人 ダブルス 松岡・竹中組 ベスト16
ソフトテニス部	団体戦 2 回戦 仙台二②－1 古川 3 回戦 仙台二②－1 登米 4 回戦 仙台二 1－②仙台一 個人戦 1 回戦 武田・田中 ④－1 佐沼 中島・小林 ④－1 石巻 高橋・宮内 0－④河南 2 回戦 武田・田中 ④－2 東北生文大付 中島・小林 ④－3 古川工業 3 回戦 武田・田中 0－④東北 中島・小林 ④－2 泉 4 回戦 中島・小林 1－④東北 (中島・小林組はベスト16より県インドア大会に出場)		団体戦 1 回戦 仙台二 1－②仙台 個人戦 1 回戦 高橋・名嶋 ④－1 宮城高専 菅原・小林 ④－0 石巻商 2 回戦 高橋・名嶋 1－④小牛田農林 菅原・小林 ④－0 仙台一 武田・佐藤 ④－2 白石 3 回戦 菅原・小林 ④－3 古川工 中島・田中 2－④東北 武田・佐藤 ④－1 仙台育英 4 回戦 菅原・小林 1－④東北 武田・佐藤 2－④東北
卓 球 部	団体 1 回戦 仙台二 0－3 伊具 ダブルス 1 回戦 堀之内・河野 2－3 引地・佐々木 (角田) シングルス 1 回戦 堀之内 3－1 斎田 (石巻工) 2 回戦 堀之内 0－3 千葉 (利 府)		シングルス 1 回戦 堀之内 3－1 斎藤 (伊具) 河野 3－1 畠山 (白石工) 樋口 3－1 加藤 (気仙沼) 2 回戦 堀之内 0－3 小野 (東北) 河野 1－3 鈴木 (涌谷) 樋口 0－3 菅原 (米谷工)
バドミントン部	男子団体戦 1 回戦 仙台二 3－1 蔵王 2 回戦 仙台二 0－3 仙台商 女子団体戦 1 回戦 仙台二 0－3 登米		男子団体戦 1 回戦 仙台二 3－1 名取北 2 回戦 仙台二 1－3 石巻工 女子団体戦 1 回戦 仙台二 0－3 気仙沼
弓 道 部	仙塩大会 男子Aチーム (我妻・工藤・高橋・宮川・高村) 予選11中で通過 決勝トーナメント 1 回戦 対利府 7－5 で勝利 準々決勝 対学院B 11－12で敗退 ベスト16 Bチーム (鈴木・山並・芳賀・齋藤・佐々木) 予選5中で敗退 個人 全員予選敗退 女子個人 芦澤・宮本 予選敗退 県大会 男子団体 (高橋・宮川・我妻・佐々木・高村・工藤・鈴木) 予選 40射18中で通過 準々決勝 20射7中で敗退 ベスト16 個人参加 (芳賀・山並・齋藤) 個人1次予選通過者 (高橋・宮川・我妻・佐々木・高村・芳賀・山並・齋藤) 個人準決勝進出 芳賀 16射13中 射詰で4位 女子個人 宮本 1次予選敗退 芦澤 1次予選通過、2次予選敗退	5/11(月)ともに 2チームで対戦 計4試合行い、 1勝2敗1分で 負け	仙塩大会 男子Aチーム (高橋・我妻・鈴木・宮川・高村) 予選11中で通過 決勝トーナメント 1 回戦 対聖和A 10－10 同中競射 2－1で勝利 準々決勝 対泉松陵B 10－7で勝利 準決勝 対学院A 11－13で敗退 第3位 Bチーム (芳賀・齋藤・工藤・山並・佐々木) 予選5中で敗退 個人 宮川 予選通過 決勝で5位 女子個人 芦澤・宮本 予選敗退 県大会 男子団体 (高橋・我妻・鈴木・宮川・高村・工藤・佐々木) 予選 40射19中で通過 準々決勝 20射8中で敗退 ベスト16 個人参加 (芳賀・山並・齋藤・廣澤) 個人1次予選通過者 (鈴木・宮川・高村・齋藤) 個人準決勝進出 高村 16射12中 10位タイ 女子個人 芦澤・宮本 1次予選通過、二次予選敗退
柔 道 部	個人戦 男子66Kg級 佐藤(南) 1 回戦敗退 佐藤(方) 2 回戦敗退	1 月 2 人残して負け 5 月 3 人残して負け	団体戦 予選敗退 個人戦 男子60Kg級 千葉 1 回戦敗退 66Kg級 佐藤(南) 1 回戦敗退 佐藤(方) 1 回戦敗退 女子70Kg級 佐藤 1 回戦敗退
剣 道 部	男子団体予選リーグ 仙台二 2－2 泉 仙台二 3－0 仙台南 決勝トーナメント 1 回戦 シード 2 回戦 仙台二 1－2 宮城広瀬 ベスト16 女子団体予選リーグ 仙台二 0－3 柴田 仙台二 2－1 古川 予選リーグ敗退 男子個人戦 伴 直彦 準々決勝敗退 ベスト8 宮崎 敬伍 準々決勝敗退 ベスト8 女子個人戦 松田 莉枝 2 回戦敗退 下瀬川 陽 2 回戦敗退		男子団体予選リーグ 仙台二 3－1 加美農 仙台二 5－0 塩釜 決勝トーナメント 1 回戦 仙台二 3－0 石巻好文館 2 回戦 仙台二 4－1 白石 準々決勝 仙台二 0－4 仙台育英 ベスト8 女子団体予選リーグ 仙台二 2－3 小牛田農林 仙台二 4－0 泉松陵 予選リーグ敗退 男子個人戦 宮崎 敬伍 準々決勝敗退 ベスト8・東北大会出場 丸谷 恭平 5 回戦敗退 ベスト16 女子個人戦 松田 莉枝 3 回戦敗退 下瀬川 陽 1 回戦敗退 東北大会 宮崎 敬伍 1 回戦敗退

大会名 部 名	平成20年度		平成21年度	
	新 人 大 会 等		定期戦	総 合 体 育 大 会 等
フェンシング部	男子団体 仙台二 0 - 5 気仙沼 女子団体 仙台二 1 - 5 仙台南			男子団体 フルーレ 仙台二 2 - 5 仙台三 男子個人 エペ 孫 祖博 優勝 東北大会・インターハイ出場 東北大会 3 位 インターハイ 決勝トーナメント進出 女子団体 フルーレ 選手負傷により棄権 女子個人 エペ 藤井 美帆 準優勝 東北大会進出 東北大会 2 回戦進出
山 岳 部	3 位			3 位
ス キ ー 部	女子 ジャイアントスラローム 1 位 丹野 光里 女子 スラローム 1 位 丹野 光里			県大会 ジャイアントスラローム 6 位 丹野 光里 女子 スラローム 6 位 丹野 光里 東北大会 女子 スラローム 33 位 丹野 光里
ヨ ッ ト 部	男子FJ級 ソロ競技 1558艇 渡辺・森田組 3 位 1125艇 相澤・千葉組 5 位			県大会 男子FJ級 デュエット競技 2 位 ソロ競技 1558艇 渡辺・千葉組 7 位 1503艇 相澤・森田組 4 位 東北大会 男子FJ級 デュエット競技 4 位 ソロ競技 1558艇 渡辺・千葉組 7 位 1503艇 相澤・森田組 15 位 インターハイ 男子FJ級 ソロ競技 1558艇 渡辺・千葉組 49 位 国体予選 少年男子シーホッパー級SR 森田 第 2 位

部 活 動 の 成 果

学 芸 部 成 績 (平成21年11月まで)

部 名	成 績	部 名	成 績
写真部	第 8 回宮城県高等学校夏季写真コンテスト 優良賞 「まっすぐに」 2 年 5 組 黒澤 千洸 優良賞 「実りの秋」 2 年 5 組 大関 祐介 優良賞 「都会(まち)を往く」 2 年 5 組 大関 祐介 第16回宮城県高等学校写真展 金 賞 「我が定位置」 2 年 5 組 大関 祐介 (全国高等学校総合文化祭宮崎大会2010出品対象作品) 入 選 「新顔には負けられない」 2 年 5 組 大関 祐介	地学部	第62回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 優秀賞「氷上山で採掘した水晶に関する実験」 細井 一矢、高橋 涼、堀 さつき、塩谷梨沙子 優秀賞「七北田川のphの研究」 八木沼和文、徳田 慎平、赤間 萌衣、粕壁 幸恵
物理部	第62回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 優秀賞「ガウス加速器による鉄球の加速の実験」 熊谷 健太、西崎 遼河、青木 大地、船越 翔平 田所 祐一	英語部	宮城スキット甲子園決勝大会出場 北陵祭にて英語劇発表 第56回宮城県高等学校英作文コンクール出場
化学部	第41回国際化学オリンピックイギリス大会 日本代表候補ファイナルステージ進出者 (全国ベスト 9) 小田 望 日本化学会東北支部長賞 (化学グランプリ2008東北トップ10入賞) 八木沼瑞紀、日置壮一郎、小田 望、黒田 隆徳 高文連賞受賞2009年3月表彰 (化学関係 東北大会進出以上の実績者対象) 鈴木 裕太、山崎 高広、八木沼瑞樹、日置壮一郎、小田 望 黒田 隆徳 第11回 化学工学会 学生発表会 (郡山大会) 【東日本地区】 優秀賞「ヘキサアンミンコバルト (Ⅲ) の合成過程におけるH ₂ O ₂ 使用の効果」 高橋 拓嗣、日置壮一郎、渡辺 尚 第62回 宮城県高等学校生徒理科研究発表会 優秀賞「ヘキサアンミンコバルト (Ⅲ) 塩化物の生成に関する研究」 星川 貴樹、松橋 洋介、渡邊 健吾 優秀賞「Belousov-Zhabotinsky反応の周期の変化」 紺野 雄介、木村 大、庄子 佳祐 優秀賞「電気分解を用いた方法における定量的な銅樹生長に関する考察」 日置 友智、山田 善光、山田 学倫、仁木 健人、安藤 沙綾	書道部	第61回全国学生書道展 全国表彰校 宮城県仙台第二高等学校 書芸理事長賞 3 年 長谷川美佳 全日副会長賞 2 年 邊見ふゆみ 奨励賞 3 年 菅原佐知子 2 年 橋浦 龍彦 笛 静華 坂野美沙子 1 年 小野 春菜 小坂 徹 梅津 美奈 平井 弥生 第19回毎日書道展 東北電力賞 3 年 長谷川美佳 銅賞 2 年 邊見ふゆみ 1 年 小野 春菜
生物部	第62回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 優秀賞「アクアリウムにおける水質浄化実験」 優秀賞「ヒトデの走光性の研究」 岩渕 翼、川村真亜子、林 憲哉、堀 純平 相澤 圭、後藤 大器、鈴木 祥恵、瀬上 毅紘 日本動物学会東北支部 高校生および高校教員による発表会 優秀賞「ヒトデの走光性の研究」 岩渕 翼、川村真亜子、林 憲哉、堀 純平	吹奏楽部	第42回アンサンブルコンテスト仙台青葉支部予選 フルート三重奏 金賞 打楽器四重奏 金賞 クラリネット四重奏 銀賞 金管八重奏 銀賞 木管三重奏 銅賞 第31回東北吹奏楽の日演奏会 (泉松陵、涌谷、明成と合同) J B A 東北支部主催管打楽器ソロコンテスト南東北大会 クラリネット 阿部 結奈 (2 年) 金賞(代表) コントラバス 佐藤 耕平 (2 年) 金賞 ホルン 田川 彩奈 (3 年) 銀賞 J B A 管打楽器ソロコンテスト東北大会 クラリネット 阿部結奈 (2 - 6) 銀賞 第22回定期演奏会開催 (7/4 東京エレクトロンホール宮城 (宮城県民会館)) 第91回全国高等学校野球選手権宮城大会開会式演奏 全日本吹奏楽コンクール第52回宮城県大会予選仙台青葉・泉地区大会 高等学校の部 銀賞
		合唱部	第61回宮城県合唱祭参加 北陵祭にて発表

部 名	成 績	部 名	成 績
囲 碁 部	第33回文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権大会宮城県大会（6/26～28仙台二高・三高） 個人C 1位阿部 和久 団体優勝 第33回文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権大会（7/27～29日本棋院） 宮城県代表団体4位 （星 哲彦、加藤 敦史、紺野 文敬）、 個人予選敗退（星 哲彦） 第33回全国高等学校総文化祭囲碁部門（8/1～2三重県志摩市） 個人14位（星 哲彦） 第10回宮城県高校囲碁九路盤大会（10/16東京エレクトロンホール宮城） 1位紺野 文敬 2位星 哲彦 7位後藤 馨 第23回東北地区高等学校囲碁選手権大会（11/13～14秋田）宮城県代表 星・紺野	ギター部	第15回宮城県高等学校対抗バンド合戦2009出場（7/18） 奨励賞 ぼむ*ぼむ 大場さおり・今泉 拓哉・房州 俊樹・島田 寛基・永沼しおり たのばんフェス2009出場（10/10） 島田 寛基（ベストドラムス賞）・佐々木悠輔 佐々木涼介・鈴木 天羽・伊藤 峻吾・安齊 太亮 若林 優太・多田 和史 第6回宮城県高校対抗バンド合戦～新人大会～出場（11/7） 岡田 泰司・宮崎 雄介・大黒 健・永沼しおり 山内 章寛・坂本翔太郎・椎川真里那・若林 優太 安齊 太亮
将 棋 部	第45回全国高等学校将棋選手権宮城県予選大会 団体戦 第3位 仙台二高Aチーム		

編集係からの御願い

―新企画への情報及び原稿の御願い―

会報編集係では次の企画を準備中です。

一、応援歌の歴史

現在、仙台二高には旧仙台二中時代からのものも含め応援歌が十一曲あります。創立百十周年を来年迎えるに当たり、これらの歌の創られた経緯、作詞者、作曲者等を改めて探訪するのも意義深きことと考えております。校歌のみならず応援歌も校風や伝統の一角を成しております。因みに、校歌並びに応援歌の一部に就いては既に小出精氏（高七回）の解説が40号（平成十九年十二月）及び平成二十年春号（平成二十年六月）に『その一』、『その二』として掲載されています。このような解説を応援歌等全曲に及ぼそうというのがこの企画の趣旨です。そこで、各応援歌等の①作詞者、②作曲者（又は

元歌）、③制作時期、④制作の動機などに就いて情報の御提供を短くとも良いので御願ひ致します。

二、卒業生の進学先報告（仮題）「北陵健児の行くところ」〈進学編〉

卒業して大学に進み大学・大学院在学中の方を対象にします。①今自分の在学している大学の様子②自らの学生生活ぶり③何を学んでいるか等を紹介して下さい。全国に展開する同世代の卒業生にも有効な連絡となります。字数は八百字程度、写真も一枚程度。

三、卒業生の活躍（仮題）「北陵健児の行くところ」〈職業編〉

既に社会に出て第一線で活躍している卒業生の方が対象です。①自分の働いている分野の紹介②担っている業務の

概要③仙台二高・旧仙台二中在学中の経験で社会人になって活きているもの等を紹介して下さい。卒業生の活躍ぶりが同窓会全般に伝わり人材の多才さも改めて認識されます。字数は八百字程度、写真も一枚程度。

計 報

平成10年	8/24 大友 雅義殿 高33回	平成20年	12/9 島津 誠二殿 中42回
平成13年	7/3 沢田 鉄雄殿 高11回	12/13 加賀長一郎殿 高5回	
平成17年	11/7 相沢 秀利殿 高29回	1/18 石垣 和彦殿 中44回	
平成18年	4/21 江原 淑夫殿 高8回	3/5 西堀 節三殿 中41回	
平成19年	5/15 渋谷 喜夫殿 中28回	3/9 柴田 謙治殿 中33回	
1/16 須藤 二郎殿 中35回		5/9 高橋 洋殿 高3回	
2/13 佐藤 正治殿 高61回		5/31 鹿野 正道殿 高8回	
4/ 森 健殿 高14回		5/ 千田 敬司殿 中38回	
6/3 結城 広一殿 高1回		6/19 鈴木 涉殿 中46回	
12/9 三戸部正二殿 中38回		7/26 一文字嗣郎殿 高12回	
		8/16 松本 達大殿 高3回	
		9/8 伊東 栄悦殿 中41回	
		9/9 加藤 充志殿 高11回	
		9/21 水野勇三郎殿 高11回	
		9/30 稲津 佳彦殿 中38回	
		10/16 安部 隆之殿 中47回	

原稿等の送り先

九八〇・八六三一

仙台市青葉区川内澁橋通一

仙台二高同窓会事務局

FAX 〇三・二二・五六八六

電話 〇三・二二・五六五一

『応援歌の歴史情報在中』
『卒業生の進学先報告原稿在中』
『卒業生の活躍原稿在中』
と封書及び書面に明記願ひます。

5/31	佐藤 章殿	中39回	5/18	鈴木 実殿	中45回	5/8	鈴木 四朗殿	中35回	5/4	山田 公彦殿	中37回	4/30	西村 清治殿	高10回	4/25	佐藤 修吉殿	中37回	4/24	塚本 幸夫殿	高1回	4/23	木下 志郎殿	中41回	4/12	曾根 輝式殿	高8回	4/2	清水 圭一殿	高3回	3/16	新野 和郎殿	高1回	3/5	黒沢 昌平殿	中38回	2/18	早坂柳三郎殿	中41回	2/13	関川 明正殿	中44回	2/5	菅原 成爾殿	高63回	2/5	恒松 源人殿	高11回	1/29	新野 政治殿	中31回	1/24	栗村 静男殿	中36回	1/23	秋元 和人殿	高21回	1/21	油谷 二郎殿	高3回	1/20	角田 一郎殿	中39回	1/19	赤間 勝寛殿	高6回	1/1	富田 哲男殿	高2回	平成21年	12/25	今泉 洋次殿	高13回	12/10	坂本 啓樹殿	高22回	11/24	石井 哲郎殿	中44回	11/4	加藤弘四郎殿	中42回	10/	大場 義継殿	高15回
------	-------	------	------	-------	------	-----	--------	------	-----	--------	------	------	--------	------	------	--------	------	------	--------	-----	------	--------	------	------	--------	-----	-----	--------	-----	------	--------	-----	-----	--------	------	------	--------	------	------	--------	------	-----	--------	------	-----	--------	------	------	--------	------	------	--------	------	------	--------	------	------	--------	-----	------	--------	------	------	--------	-----	-----	--------	-----	-------	-------	--------	------	-------	--------	------	-------	--------	------	------	--------	------	-----	--------	------

●「兵士」になれなかった 三島由紀夫 高5回 猪狩 武様	●東北の歴史 中36回 八代 典二様	●寄贈本 平成二〇年十二月 平成二十一年十一月	同窓生からの 中46 南條 敏夫殿の没日 誤：平成20年11月23日 正：昭和55年6月25日
------------------------------------	-----------------------	-------------------------------	--

●Newsweek 他 高49回 浦上 尚隆様	●水曜日はどこでしょう 高11回 加藤 文彬様	●「花野抄」12集 高11回 太田 遷水様	●「花野抄」7、11集 「奇」1、2 計7冊 高11回 太田 遷水様
----------------------------	----------------------------	--------------------------	--

●語りつく「私の戦争体験」 2 仙台空襲（みやぎ憲 法ブックレット5） 高36回 小山 朗様	●科学者の心 世界35ヶ国写真集 高11回 海老名卓三郎様
---	-------------------------------------

6/2 瀬戸 茂雄殿 中39回	6/16 佐藤 道輔殿 高8回	6/18 岡見 璋殿 中44回	6/ 横田 俊平殿 高12回	7/1 三浦 義章殿 高2回	8/22 黒澤直次郎殿 高3回	8/27 小林 茂悦殿 中41回	8/ 荒井 昭殿 高1回	9/12 古田 栄夫殿 高1回	会報（平成二十一年度春季号） の計報の中に、年月の誤記が ありましたので次のように訂 正いたします。
-----------------	-----------------	-----------------	----------------	----------------	-----------------	------------------	--------------	-----------------	---

叙 勲 平成二十年春の叙勲 瑞宝小綬章 高2 早川 誠一	平成二十一年春の叙勲 瑞宝小綬章 高6 佐藤 勉	平成二十一年秋の叙勲 旭日双光章 高4 北川 正伸	瑞宝小綬章 高2 早坂 茂	高7 堀田 壽一	瑞宝双光章 高4 芳賀 繁
---------------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	------------------	----------	------------------

編集後記

同窓会の事務室には日頃からいろいろな声が寄せられています。

同窓生の消息問合わせ、共学化後の母校の実情を心配する声、母校の健全な発展を願う声、年会費納入方法や期限の設定時期に関する提言等々、多岐にわたっています。

いずれも母校や同窓会（生）を思う心情にあふれたものです。このような声に少しでも応えるべく、同窓生の異動欄、母校の現状、会費納入状況等の記事の充実に努めています。

一方では、新しい企画に沿った記事の募集も行っていますので、さらに多くの同窓生の積極的な投稿もお待ちしております。

副会長 高8回 山下健二

二高への交通の便 <仙台駅前から>

▶仙台市営バス・・仙台駅前バスプール16番から730、739系統『二高・県美術館前』下車、運賃180円

▶仙台市営市内観光循環バス『るーぷる仙台』・・仙台駅前バス乗り場15-3番、運賃250円（1回券）、600円（1日券）。但し、瑞鳳殿、大橋、青葉山とを大きく経由してから二高前に到達、時計回りのみの循環運行です。

注：仙台市電は昭和51年3月末で廃止となりました。昭和51年以前の御卒業で久しく仙台から遠ざかっていた方は御注意下さい。

